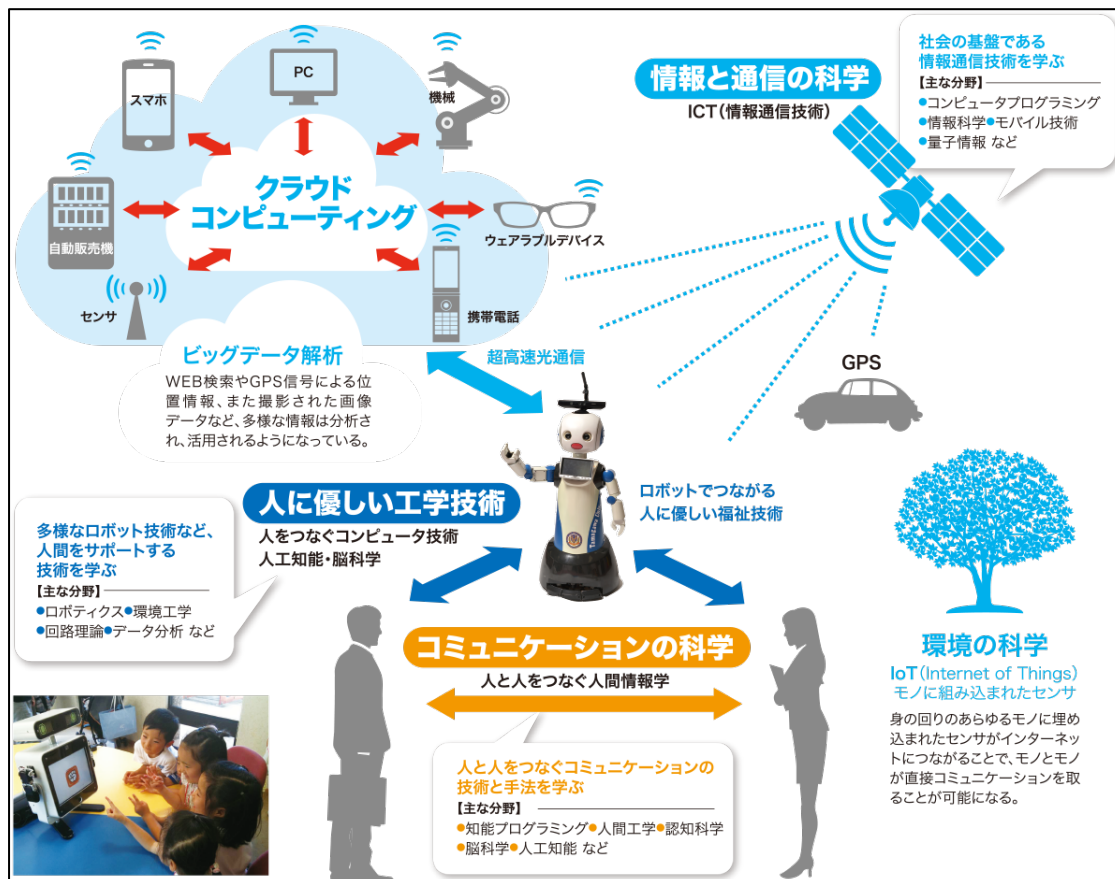


玉川大学の「AI・ロボットに関わる教育・研究活動」について

■ 玉川大学 工学部情報通信工学科（2017年4月新設）

本学科では、社会を大きく変える「人と人をつなぐ」技術をテーマとし、「情報と通信の科学」、「人にやさしい工学技術」、「コミュニケーションの科学」という情報分野のコミュニケーションに重きをおいた学びを展開しています。



■ 玉川大学 学術研究所 先端知能・ロボット研究センター（AIBotセンター）

本研究センターでは多様な価値が調和的に想像される社会の実現をめざし、人工知能、認知科学、ロボットテクノロジーをキーワードに人間中心の社会知性の創成を支援するための研究を推進しています。

めざすのは、人々と「技術」が共に生き、共に働く社会を創ることです。人々が活躍し、人々の幸せを実現する社会のために、「技術」が貢献できることは何かを考え、人と「技術」が調和する社会の実現を求めています。

- 【主な研究内容】
- ・ 記号創発ロボティクスによる人間機械コラボレーション
 - ・ 知覚的シンボルシステムの実現に向けて、人間知能の構成論的理解
 - ・ AI・ロボティクスに関連するビジネスモデルの研究
 - ・ STEM から STREAM へ、STEM 教育の理論的実践的基盤の解明

■ World Robot Summit

新大会に向け本学にて、今夏（8月2日～6日）まで、ジュニアカテゴリーのワークショップとトライアル競技会を開催しました。また本学の研究者が中心となり、2018年のプレ大会と2020年の本大会に向け、ルールや運営方法の検討を行いました。